



2021年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月13日

上場会社名 株式会社アクシーシア 上場取引所 東
 コード番号 4936 URL https://axxia.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 段 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 福井 康人 TEL 03 (6911) 3899
 定時株主総会開催予定日 2021年10月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年10月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年7月期の連結業績（2020年8月1日～2021年7月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	5,787	34.9	1,383	28.5	1,370	33.0	868	21.1
2020年7月期	4,290	24.4	1,075	△24.2	1,030	△25.5	717	△20.6

（注）包括利益 2021年7月期 905百万円（27.2%） 2020年7月期 712百万円（△21.0%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年7月期	35.97	35.83	18.4	24.6	23.9
2020年7月期	31.46	—	37.6	38.8	25.1

- （注）
- 2020年7月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価は把握できない為記載しておりません。
 - 2021年7月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2021年2月18日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 - 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期	8,267	7,193	87.0	278.81
2020年7月期	2,891	2,264	78.3	99.30

（参考）自己資本 2021年7月期 7,193百万円 2020年7月期 2,264百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年7月期	1,059	△84	3,959	5,935
2020年7月期	161	△90	△105	924

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年7月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年7月期の連結業績予想（2021年8月1日～2022年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,117	23.0	1,466	6.1	1,424	3.9	930	7.1	36.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期	25,800,000株	2020年7月期	22,800,000株
② 期末自己株式数	2021年7月期	－株	2020年7月期	－株
③ 期中平均株式数	2021年7月期	24,147,945株	2020年7月期	22,800,000株

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年7月期の個別業績（2020年8月1日～2021年7月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	5,389	31.7	1,127	24.5	1,118	29.7	671	16.6
2020年7月期	4,093	18.1	905	△37.5	862	△38.9	576	△37.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期	27.82	27.71
2020年7月期	25.27	－

- (注) 1. 2020年7月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価は把握できない為記載しておりません。
 2. 2021年7月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2021年2月18日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年7月期	7,826	6,847	6,847	2,151	87.5	265.40	94.37	
2020年7月期	2,761	2,151	2,151	2,151	77.9	94.37	94.37	

(参考) 自己資本 2021年7月期 6,847百万円 2020年7月期 2,151百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、経済活動の停滞が終息しておらず、国内個人消費の下振れと企業収益や雇用環境の悪化などにより、依然として厳しい状況が続いています。新型コロナワクチンの接種開始による感染症収束への期待が高まるものの、新型コロナウイルスの変異株が確認されるなど、パンデミックの終息には長期間を要するものと考えられます。

国内化粧品市場においては、新型コロナウイルス感染症による入国規制によるインバウンド需要は依然として回復の見通しがたたず、消費の冷え込みが継続しており、先行きは不透明な状況が続いております。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う日常生活の変容が進む中、いわゆる巣ごもり需要やインターネット購入の拡大により、Eコマースの重要性が増しております。

海外化粧品市場においても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により先行きは不透明な状況が続いていますが、中国市場においては経済活動の正常化が進み、Eコマース市場を中心に緩やかに回復傾向が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは、2019年8月からスタートした3ヵ年中期経営計画に基づき、中国本土で広告投資を強化、販売力の強化を図るとともに、次世代の成長製品を創出すべく取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は5,787,495千円（前期比34.9%増）となり、過去最高を更新いたしました。

利益につきましては、増収効果によって売上総利益は増加しました。認知度・ブランド力向上の為に積極的に広告の先行投資を実施した結果、販売費および一般管理費が増加し、営業利益は1,383,039千円（同28.5%増）、経常利益は1,370,649千円（同33.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は868,637千円（同21.1%増）となり、増収増益となりました。

なお、当社グループは化粧品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

[業績の概要]

(単位：百万円、%)

	前連結会計年度	当連結会計年度	対前期比
売上高	4,290	5,787	+34.9
営業利益	1,075	1,383	+28.5
経常利益	1,030	1,370	+33.0
親会社株主に帰属する当期純利益	717	868	+21.1

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,375,758千円増加し、8,267,521千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて5,235,117千円増加し、7,690,033千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて140,640千円増加し、577,487千円となりました。流動資産の主な増加要因は、東京証券取引所マザーズへの上場に伴う公募増資を実施したことによる現金及び預金の増加5,010,801千円等によるもの、固定資産の主な増加要因は、無形固定資産の増加38,433千円、投資その他の資産の増加33,714千円等によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて446,575千円増加し、1,074,252千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて487,412千円増加し、958,098千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて40,837千円減少し、116,154千円となりました。流動負債の主な増加要因は、未払法人税等の計上等による増加382,624千円、買掛金の支払等による減少96,286千円等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,929,183千円増加し、7,193,269千円となりました。主な増加要因は、東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資の実施により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,011,875千円増加したこと等によるものです。

なお、自己資本比率は87.0%（前連結会計年度末は78.3%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ5,010,801千円増加し、5,935,360千円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末における営業活動の結果、獲得した資金は1,059,038千円（前年同期は161,517千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,370,649千円等により資金が増加した一方で、売掛債権の増加額161,399千円、仕入債務の減少額99,735千円、法人税等の支払額又は還付額180,086千円等により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末における投資活動の結果、使用した資金は84,511千円（前年同期比6.8%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出33,040千円、無形固定資産の取得による支出41,442千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度末における財務活動の結果、獲得した資金は3,959,187千円（前年同期は105,182千円の支出）となりました。これは主に、当社が東京証券取引所マザーズに上場したことに伴う株式の発行による収入4,023,750千円、株式の発行による支出25,714千円、上場関連費用の支出18,128千円等によるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の下押しが継続しております。各国でワクチン接種が開始されるなど収束に向けた動きも見られますが、変異株の発生等があり、今後の見通しは不透明であります。

一方、当社グループが主要市場とする中国市場では、新型コロナウイルス感染症の影響からいち早く脱却し、「アフターコロナの新常態」が具現化することが予想されます。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、国内においては個人消費が2021年の後半から2022年に徐々に持ち直すと予想しております。インバウンド需要につきましては渡航規制等により年内は大幅なマイナスが続き、回復の兆しがみられるのは2022年以降と想定しております。

一方、当社グループが主要市場とする中国本土を中心としたインバウンド消費の回復は、日本及び訪日外国人の8割を占めるアジアの接種率が7割に到達し感染リスクが低下する2022年中盤頃と想定しております。

上記の状況を踏まえ、次期の業績につきましては、売上高7,117百万円（前期比23.0%増）、営業利益1,466百万円（前期比6.1%増）、経常利益1,424百万円（前期比3.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益930百万円（前期比7.1%増）を予想しております。

今後、新型コロナウイルス危機後のニューノーマルを見据え、新しい状況に適応しながら想像力を発揮し事業を推進してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性や企業間の比較可能性等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ国内の同業他社の適用動向等を鑑み、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	924,558	5,935,360
売掛金	310,135	439,678
製品	842,013	733,193
原材料及び貯蔵品	176,264	374,370
未収還付法人税等	9,948	—
その他	193,615	209,053
貸倒引当金	△1,621	△1,621
流動資産合計	2,454,916	7,690,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,339	19,187
土地	242,578	242,578
その他(純額)	42,172	102,818
有形固定資産合計	296,090	364,583
無形固定資産		
その他	38,575	77,008
無形固定資産合計	38,575	77,008
投資その他の資産		
繰延税金資産	41,062	70,694
その他	61,118	65,200
投資その他の資産合計	102,181	135,895
固定資産合計	436,846	577,487
資産合計	2,891,762	8,267,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,856	160,570
1年内返済予定の長期借入金	5,544	72,544
未払法人税等	9,893	392,517
賞与引当金	8,583	10,971
その他	189,807	321,493
流動負債合計	470,685	958,098
固定負債		
長期借入金	135,678	63,134
その他	21,313	53,020
固定負債合計	156,991	116,154
負債合計	627,676	1,074,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	98,000	2,109,875
資本剰余金	—	2,011,875
利益剰余金	2,174,118	3,042,755
株主資本合計	2,272,118	7,164,505
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,031	28,764
その他の包括利益累計額合計	△8,031	28,764
純資産合計	2,264,086	7,193,269
負債純資産合計	2,891,762	8,267,521

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
売上高	4,290,404	5,787,495
売上原価	1,252,668	1,712,166
売上総利益	3,037,735	4,075,329
販売費及び一般管理費	1,961,751	2,692,289
営業利益	1,075,984	1,383,039
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,549	538
補助金収入	—	3,684
為替差益	—	29,456
その他	2,396	3,182
営業外収益合計	3,946	36,860
営業外費用		
支払利息	3,041	3,115
為替差損	45,586	—
株式交付費	—	25,714
上場関連費用	—	18,128
その他	954	2,291
営業外費用合計	49,582	49,250
経常利益	1,030,348	1,370,649
特別利益		
固定資産売却益	1,787	—
特別利益合計	1,787	—
税金等調整前当期純利益	1,032,136	1,370,649
法人税、住民税及び事業税	303,574	531,336
法人税等調整額	11,189	△29,324
法人税等合計	314,764	502,012
当期純利益	717,371	868,637
親会社株主に帰属する当期純利益	717,371	868,637

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
当期純利益	717,371	868,637
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,342	36,795
その他の包括利益合計	△5,342	36,795
包括利益	712,029	905,433
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	712,029	905,433
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	98,000	—	1,456,854	1,554,854	△2,689	△2,689	1,552,165
会計方針の変更による 累積的影響額			△108	△108			△108
会計方針の変更を反映した 当期首残高	98,000	—	1,456,746	1,554,746	△2,689	△2,689	1,552,056
当期変動額							
新株の発行	—	—		—			—
親会社株主に帰属する 当期純利益			717,371	717,371			717,371
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					△5,342	△5,342	△5,342
当期変動額合計	—	—	717,371	717,371	△5,342	△5,342	712,029
当期末残高	98,000	—	2,174,118	2,272,118	△8,031	△8,031	2,264,086

当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	98,000	—	2,174,118	2,272,118	△8,031	△8,031	2,264,086
当期変動額							
新株の発行	2,011,875	2,011,875		4,023,750			4,023,750
親会社株主に帰属する 当期純利益			868,637	868,637			868,637
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					36,795	36,795	36,795
当期変動額合計	2,011,875	2,011,875	868,637	4,892,387	36,795	36,795	4,929,183
当期末残高	2,109,875	2,011,875	3,042,755	7,164,505	28,764	28,764	7,193,269

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,032,136	1,370,649
減価償却費	27,026	28,770
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,621	—
受取利息及び受取配当金	△1,549	△538
支払利息	3,041	3,115
株式交付費	—	25,714
上場関連費用	—	18,128
為替差損益 (△は益)	15,590	△18,945
固定資産売却損益 (△は益)	△1,787	—
売上債権の増減額 (△は増加)	178,456	△161,399
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△509,221	△72,139
仕入債務の増減額 (△は減少)	142,513	△99,735
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	43,192
未払又は未収消費税等の増減額	△109,524	105,365
その他	37,897	△473
小計	816,199	1,241,705
利息及び配当金の受取額	1,549	538
利息の支払額	△2,961	△3,118
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△653,268	△180,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,517	1,059,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,952	△33,040
有形固定資産の売却による収入	3,150	—
無形固定資産の取得による支出	△31,972	△41,442
その他	△24,928	△10,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,704	△84,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,544	△5,544
株式の発行による収入	—	4,023,750
株式の発行による支出	—	△25,714
上場関連費用の支出	—	△18,128
その他	361	△15,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,182	3,959,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,124	77,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△51,493	5,010,801
現金及び現金同等物の期首残高	976,052	924,558
現金及び現金同等物の期末残高	924,558	5,935,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月18日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年2月17日を払込期日とする公募増資による新株式3,000,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,011,875千円増加し、当連結会計年度末において資本金が2,109,875千円、資本剰余金が2,011,875千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社は化粧品事業に係る外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
465,089	3,690,044	135,270	4,290,404

(注)売上高は最終納入先を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社は化粧品事業に係る外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
384,178	5,226,265	177,050	5,787,495

(注)売上高は最終納入先を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
306,286	58,297	0	364,583

(注)有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
愛仕蘭化粧品（上海）有限公司	711,159	化粧品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
1株当たり純資産額	99.30円	278.81円
1株当たり当期純利益	31.46円	35.97円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—円	35.83円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	717,371	868,637
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	717,371	868,637
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,800	24,147
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	94
(うち新株予約権にかかる増加数(千株))	(—)	(94)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回新株予約権 新株予約権の個数 365個 普通株式 365千株 第2回新株予約権 新株予約権の個数 28個 普通株式 28千株 第3回新株予約権 新株予約権の個数 4個 普通株式 4千株	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。